

# 救



千代田中学校 3年  
吉田 陽向子 さん

## 私の好きな漢字

私は、将来人の命を救う医療関係の仕事に就きたいと思っています。たくさんの人を救うために、これからもさまざまなことに挑戦し自分を高めていきたいです。そして、これからどんな壁にぶつかっても、人を救う夢に向かって諦めず乗り越えていこうと思います。

### ◆◆◆ 文芸コーナー ◆◆◆

#### ◆ 俳句（ひしの実句会）

雛飾る  
戦なき世の願はしき

香月富士雄

息白くしろくになりたる  
朝かな

牟田口則子

朝あさの香りの届く沈丁花  
井上 豊美

みなと横浜  
春風のベンチかな

田原 静子

稜線のはつきり見ゆる  
梅の花

畑石 勝子

ほんのりと  
ランタンの灯や冴返る

牟田 鶴美

#### ◆ 川柳（あおぼ会）

メール打ちハガキも出して  
電話する

眞島 永治

文苦手好きで川柳一句詠む  
柳郷 勝吉

妻の愚痴  
聞きたくないがその通り

島 信秀

じゃが芋の花豊作を疑わず

佐藤久仁子

もの忘れ  
胸のポルトが老朽化

眞島 壽子

鏡見て  
笑って福を呼び寄せる

前田 久子

孫成長  
いつの間にやら逆転し

吉岡 明美

#### ◆ 短歌（神埼短歌会）

満開の薄紅の枝垂れ梅  
雨に降られてあわれな姿

田中 と代

折紙で男雛や女雛雪洞を  
作りて楽し集いの人らと

羽野 智子



### 人のうごき【令和8年3月末現在】

- 人口：29,772人  
(対前月-66人)  
(男性/14,356人 女性/15,416人)
- 世帯数：12,643世帯  
(対前月+32世帯)



### 今月の納期

- 固定資産税(1期)
  - 軽自動車税(種別割)(全期)
  - 下水道使用料(3~4月分)
- ※使用人員の確認をお願いします



### 市の広報番組

- 「よかね神埼」  
ぶんぶんテレビの14分番組  
月・火・木・金・日曜日  
12:30~、21:30~  
※番組編成により放送時間が変更になる場合があります

神崎のまちで、  
 きらりと輝く活躍をされている  
 方達を紹介します。



神崎高校カヌー部所属/  
 SSPライジングアスリート/  
 U23カヌースプリント  
 世界選手権日本代表  
**花岡 ゆららさん**

## オールを握り、世界へ挑む

― 周りの支えを力に、神崎から羽ばたく ―

神崎市を拠点にカヌー競技に打ち込む花岡さん。地元飯塚市で小学2年生からカヌーをはじめ、中学1年の全国大会を機に一度は競技から離れたものの、「もう一度やりたい」という思いが再燃。両親の支えを受けながら、練習を再開しました。

転機となったのは神崎高校の園田里志監督との出会い。筑後川で自主練習を行っていた際に声をかけられたことがきっかけでした。それから中学3年生まで、週末は神崎高校のカヌー練習に参加しました。「整った練習環境のもとで、本気でカヌーに取り組みたい」という思いを胸に、神崎高校へ進学。一人暮らしにも挑戦し、学校に通いながら競技に打ち込んでいます。

そんな花岡さんの毎日は、朝6時から日の尺池で8キロの乗艇練習を行い登校。放課後も再び同じ練習場に戻り、日の隈山でのトレーニングや乗艇に励む日々です。「自然条件も毎回違う中での勝負が面白い」と語る花岡さん。スタートダッシュを強みと

し、国民スポーツ大会では200mで連覇を果たし、7月にカナダで開催される世界選手権の日本代表にも選出されています。

「今の自分の成績があるのは、周りのサポートのおかげでしかない」と言葉の端々に感謝の思いがにじみます。充実した練習環境に加え、大家さんが用意する日々のお弁当など、周囲の支えがあるからこそ競技に集中できているといいます。

目標はオリンピック出場。世界大会にも挑む中で、神崎から世界へ羽ばたく選手として、さらなる飛躍が期待されます。「神崎を代表して頑張りますので応援お願いします！」と満面の笑みで語ってくれました。



## 市長コラム

### 人の繋がりを大切に

本年3月20日は神崎市が誕生して20年ということで、中央公民館において「かんざき誕生祭」を開催しました。参加された方からは、「前半の式典、後半の未来会議、それぞれに良い内容だった」との評価の声をいただいた一方で、「式典のことを知らなかった。もっと広報をして欲しい」と、反省を促す意見もいただきました。

市長就任以来、信頼回復のため、また、神崎市の良い点を市内外にアピールするため、定例記者会見の実施、SNSの活用、市報の見直し、さらには、出張さねトーク（市民の皆さんとの意見交換）の実施など、積極的に情報発信を心がけてきましたが、今回のような指摘をいただき、改めて更なる工夫の必要性を感じたところです。工夫といえは、いま私が情報発信において重要視しているのは「人」です。市報では、市内の様々な分野において頑張っている人に注目し、巻頭の特集を作成しています。理由は、頑張っている人からは良いエネルギーをいただくことができることに加えて、人と人が繋がることで、新たな取組が始まる契機になると期待しているからです。先の「かんざき誕生祭」においても、神崎市出身の著名人である「江頭2・50」さんや「ちとせよし」さんにご支援をいただきました。おかげ様で、企画段

階において想定していたものよりも数段良い内容の誕生祭になりました。多くの皆さんにご協力をいただき、本当にありがとうございました。

4月18日、旧長崎街道沿いにある小林薬局、円福寺、大圓寺のみなさんが連携し、マルシェとスタンプラリーを開催されました。私も足を運びましたが、コーヒーを飲んだり、スイーツを食べながらの「まち歩き」は、とても新鮮で、新たな出会いと多くの気づきを得ることが出来ました。「一人と人の繋がりが新たな力（良いエネルギー）を生む」ことを体感した1日でした。今後も、市内各地で多くのイベントが開催されます。皆さんも、良いエネルギーをもらいに出掛けてみませんか。



神崎市長  
 實松 尊徳

### 市長交際費の公表

令和8年3月分

項目	件数	支出額(円)
弔慰	2	20,000
御祝	0	0
激励	0	0
会費	1	4,500
見舞い	0	0
その他	1	16,200
計	4	40,700